

令和2年6月27日

記録：関根 浩

令和2年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

- 1 日時 令和2年6月26日（木）13時30分
- 2 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
- 3 出席者 馬把幸雄（下加治自治会会長）
圓山和也（芳友会会長（同窓会）…欠席）
小林健一（つつじの園施設長）
新井 望（さくら野整骨院院長）
北野 哲（大川学園高等学校校長）
平澤淳校長 岡村忠彦教務部長
福島有美事務室長 関根浩学務部長

4 校長挨拶

新型コロナウイルスの影響により、6月から平常授業がスタートしましたが、入学式も中止となり、学生には可哀想な思いをさせてしまっているが、教職員・学生ともにお陰様で元気である。1年間、無事に終われるようにと願っている。

- 5 委嘱状交付・自己紹介
- 6 令和元年度事業計画について

(1) 教育目標

校訓「自律・協調・奉仕」の下、地域における医療・介護に携わる一員として活躍できる人材育成を通して、社会人として常に幅広い視野を持ち、正しい知識・技術力・実践力は勿論のこと、心の痛みも和らげられる医療人、心に寄り添える福祉人を育てる。

(2) 重点目標

①入学生の確保

広報室・教育支援推進室とも連携し、高校訪問、オープンキャンパス、卒業生との連携、介護福祉学科は、留学生に対して日本語講師を雇い日本語教育を行うなどの留学生の受け入れ体制の整備、柔道整復学科の男女比は、男性が多い為、女性学生増へ向けての取り組み、大川学園の内部高校生向け講座の実施等、実効ある方策を実施し定員充足を目指す。

②学生指導

学生が、安心・安全・健全に学校生活を送れるよう、学生の悩みをよく聞きフォローするなど、教職員全体でのコミュニケーションを重視する。学習面では国家試験合格100%を目指す。留学生は、当校として初めて国家試験の受験となる為、日本語力の向上も目指している。

③職業実践専門課程

介護福祉学科の認可2年目に伴い、要件を欠くことがないように引き続き適正な運営に努める。また、職業実践専門課程に認定されているということは、社会的認知や高校側からも安心を与える。よって、柔道整復学科も来年度の申請に向けた準備を進める。

④地域貢献

当校は、地域行事・各種大会等へのボランティアの参加に力を入れるスタンスである。校舎・校庭・柔道場の外部への開放等、開かれた学校として地域に貢献する。前自治会長様からご意見いただきました学校周辺の清掃活動についても昨年度秋に実施した。

⑤付帯事業

現在、新型コロナウイルスの影響により患者様が減少している状況ではあるが、附属芳愛接骨院来院数増に向けて院内の拡張、柔道整復師職員を増員し待ち時間の短縮を図る。その他、今年度も介護福祉士実習指導者講習会を実施する。以上が重点目標である。年2回開催の学校関係者評価委員会でご意見いただき、安心・安全な中で目標を達成していきたい。

(3) 3つのポリシー

①AP<アドミッションポリシー> 入学者受け入れの方針

②CP<カリキュラムポリシー> 教育課程編成実施の方針

③DP<ディプロマポリシー> 学力授与の方針

オープンキャンパスを6月より開催しています。三密にならないように等、新型コロナウイルス感染防止の配慮をしながらの開催となっています。委員の先生方の家族・お知り合い等の方で興味のある方がいらっしゃいましたらご紹介願います。

7 年間行事予定について

今年度から柔道整復学科が昼間部のみとなったことにより、授業開始が9時30分からの始業と全学科足並みが揃った形で動いている。また今年度は、新型コロナウイルスの影響により大幅な予定変更になってしまっている。前期は、入学式は中止、授業開始は6月スタートの2ヵ月遅れ、柔道整復学科は、前期の実技授業と臨床実習も延期、介護福祉学科も介護実習が延期となり、全学科夏季休業も減少となる。後期は、10月25日(日)の大川学園祭も規模縮小か中止か現在検討中である。国家試験は、介護福祉学科が1月24日(日)、柔道整復学科が3月7日(日)である。

8 令和2年度自己評価報告書について

今年度の取り組み等が記入されています。年度末には、結果等を報告させていただきます。ご覧いただき、ご意見等ある場合には、ご質問ください。

9 意見・助言等

- ・新型コロナウイルスの影響で自治会活動もうまくいっていないのが現状である。下加治地域の中に手に職が持てる大川学園という学校がある???情報が無い…、知らない…。よって、近隣地域への宣伝が必要である。飯能市の情報を知ることが

出来る月2回各家庭に回る「回覧板制度」がある。その「回覧板」に大川学園の色々な行事の中で地域の方が参加できるような行事等を紹介し、宣伝していくことが地域の方々に対し良い宣伝となると思われる。

- ・新型コロナウイルスの影響で、先生方が年間予定を計画するのも大変でしょうが、今やらなければならないことも多いと思われる。
- ・学生募集が難しい中で、柔道整復学科の募集も厳しいようだが、定員増が実現できるよう頑張っていたきたい。
- ・職業実践専門課程に認められている学校ということは、外部からは、安定感のある学校だと評価される。
- ・地域の方とは、最初は距離があるように感じてしまうが、積み重ねることによって、距離が縮まってくることは間違いないので、地域の方との交流は必要である。
- ・女性の柔道整復師が少ないというが、まずは、地域の方から底上げしていくやり方がいいと思われる。なぜなら、地元自治会で防災の役員をしているが、ドクターやナースの方々との連携が必要となる為、柔道整復師の知識があった方がいいと感じたからである。
- ・臨床実習や介護実習をすることに対し、学生達はどうか考えているのか？
 - 現時点では、臨床実習も介護実習も延期の予定である為、その辺りは個々に確認していない。就職担当としては、現場を少しでも経験してもらいたいのので新型コロナウイルスの影響により、中止にならないことを願っている。
- ・高校からの内部進学した学生が4名退学している。内部進学希望の生徒を高校在学中にどのような指導をしていったらよいか？
 - 専門学校の勉強では、高校時の偏差値というものは全く関係ない。やる気である。日頃の学習を積み重ね、準備をして入学していただければ問題ない。

10 事務連絡

次回開催予定 令和3年3月18日(木) 13時30分 2階会議室

令和3年3月31日

記録：関根 浩

令和2年度 第2回 学校関係者評価委員会 議事録

※ 新型コロナウイルスの感染の状況を鑑み、多数の方が、校舎内において長時間に渡り同じ場所に集まる状況は、現況では避けなくてはならないことから、「学校評価委員会」を中止とした。なお、当日、使用する資料を全出席予定者に送付し、その資料に対する意見等を回答いただく方法とした。

1 予定日時 令和3年3月19日(木) 13時30分

2 予定場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室

3 出席予定者 馬把幸雄（下加治自治会会長）
圓山和也（芳友会会長（同窓会））
小林健一（つつじの園施設長）
新井 望（さくら野整骨院院長）
北野 哲（大川学園高等学校校長）
平澤淳校長 岡村忠彦教務部長
福島有美事務室長 関根浩学務部長

4 予定議題

- ① 校長挨拶
- ② 自己評価報告書
- ③ 令和元年度学生募集振り返り・学生の状況
- ④ 年間行事等振り返り
- ⑤ 評価及び意見・助言等
- ⑥ 事務連絡

5 意見書

- ・ コロナ禍で、両学科とも学習効果を上げる十分な指導時間が確保しづらい中でも、努力されてきたことがわかる。感謝したい。
- ・ 3月22日(月)の大川学園高等学校専任教員研修会で、霞孝行柔道整復学科長から、「国家試験をクリアできなければ、身体の仕組みについて知っている“ただの人”になってしまう。」と語っている。専門学校の責務は、当該国家試験の合格にある。高校で十分な学力等を身につけているとはいえない学生もいる中、さらに工夫をいただき、国家試験合格に向けてお願いしたい。内部進学でお世話になる高校生が増えて

いるので、高校でも 学力向上を図るよう努めていく所存です。

- ・介護福祉学科においても高校の福祉科生徒の進学先として内部進学が増えています。これは、体験等の案内をいただき、高校生が専門学生と共に授業を受ける機会を作っていただいていることで、大川学園を身近に感じていることも影響していると思います。今後とも、よろしくお願ひしたいと思っています。

6 事務連絡

次回開催予定 令和3年5月13日(木) 13時30分 2階会議室